



大学3回生も受験できます！

－令和7年度京都市立学校教員採用選考試験について－

- 1 大学3回生等を対象とした「大学3回生等 JUMP UP 特別選考」を実施します。
- 2 大学・大学院推薦制度について、「成績優秀者推薦枠」の新設や、高校の推薦枠の復活など、推薦枠を拡大します。

概要

1 大学3回生等を対象とした「大学3回生等 JUMP UP 特別選考」について

令和7年度中に卒業予定の大学3回生等が受験できる特別選考を創設し、令和7年度（令和6年度実施）京都市立学校教員採用選考試験の第1次試験の一部を受験可能とします。これにより、教職を志す学生に対して、受験機会の選択の幅を広げることに加え、本市独自の教員養成システムである、京都教師塾のカリキュラムを利用し、学生が教職に就くために求められる知識や経験等を、効果的・意欲的に学べる機会を提供します。

- (1) 令和7年度（令和6年度実施）京都市立学校教員採用選考試験の「一般・教職教養筆記試験」及び「専門筆記試験」について、大学3回生等の受験を可能とします。
- (2) 「一般・教職教養筆記試験」、「専門筆記試験」それぞれで合否を判定します。
- (3) 「一般・教職教養筆記試験」合格者は、京都教師塾の受講料を全額免除します。また、不合格となった方にも、京都教師塾の有料コンテンツの一部を無償で公開します。

2 大学・大学院推薦制度の変更について

本市を第一希望とする大学生等のさらなる確保に向け、大学・大学院推薦制度を変更します。

- (1) 「成績優秀者推薦枠」を新設し、推薦人数に2名を加算できることとします。
- (2) 中学校について、新たに「国語」の推薦を可能とします。
- (3) 高校について、「情報」・「工業」の推薦を、13年ぶりに復活します。

※その他詳細は、別紙をご覧ください。

今後の予定

- 全体説明会
日時 令和5年12月22日（金）
場所 京都市総合教育センター（京都市下京区河原町松原上る二丁目富永町344）
内容 ・教員採用選考試験説明会
・現職教諭との座談会など
- 大学等での説明会
11月以降、希望する大学等で、説明会を行います。
- 試験実施日や、その他試験の詳細については、後日改めて発表します。

1. 大学3回生等を対象とした「大学3回生等 JUMP UP 特別選考」について

(1) 資格要件

以下のすべての要件を満たす方。

①令和6年4月1日現在、大学3回生等で、令和7年度中に卒業予定であること。

②必要な免許状を令和8年4月1日までに取得見込であること。

※大学3回生等とは大学、大学院の最終年次の1年前の年次をいう。(いずれの学校にも所属していない科目等履修生は含まない。)

(2) 対象出願区分

すべての出願区分が対象

(3) 内容

一般・教職教養筆記試験及び専門筆記試験が受験可

内容

- ・第1次試験において、一般・教職教養筆記試験及び専門筆記試験を受験。
- ・受験者全員に、京都教師塾の有料コンテンツの一部を無償で公開。
- ・合格者は、合格した試験に応じて、令和8年度試験の第1次試験の一部免除を受けられるとともに、令和6年度京都教師塾へ入塾を希望する場合、受講料の免除が受けられる。

その他試験に関する詳細は、令和6年3月頃に公表する「令和7年度京都市立学校教員採用選考試験実施要項」において発表します。

2. 大学・大学院推薦制度の主な変更点について

(1) 成績優秀者推薦枠の新設

ア 制度趣旨

大学・大学院推薦制度を利用して受験した学生が、合格・採用されると、推薦した大学等の次年度の推薦枠が増える制度を創設し、大学側が推薦制度を利用した合格実績に応じたメリットを受けやすいようにする。

イ 制度概要

- ・ 令和5年度に実施する試験において、大学・大学院推薦制度を利用した学生のうち、1名以上が合格・採用されるなどの条件を満たすと、令和6年度に実施する試験において、**推薦した大学等の推薦人数に成績優秀者推薦枠として2名を加算できる。**
- ・ 令和6年度に実施する試験において、**成績優秀者推薦枠で受験した学生が合格・採用された場合、令和7年度に実施する試験において、その人数に応じて、推薦した大学等の推薦人数をさらに加算できる。**

(2) 中学校における推薦可能教科の拡大

中学校の推薦可能教科について、新たに「国語」を加え、既存の「数学」、「理科」、「技術」、「家庭」、「英語」と合わせ、計6教科とする。

(3) 高校の大学推薦枠の復活

高校について、「情報」・「工業」の推薦枠を復活する。

(4) 教職大学院以外の大学等の基本人数の変更

- ・ 小学校 1名以内 → 4名以内
- ・ 中学校 教科ごとに1～2名以内 → 総枠で6名以内※
(※ただし、各教科の上限は3名以内とする。)

推薦人数合計の対比

		令和6年度試験 (令和5年度実施)		令和7年度試験 (令和6年度実施)		令和8年度試験 (令和7年度実施)
京都連合教職大学院		5～9人	→	5～11人	→	5～13人
教職大学院		2～6人	→	2～8人	→	2～10人
教職大学院 以外の大学 等	小学校	1～9人	→	4～11人	→	4～13人
	中学校	7～9人	→	6～13	→	6～15人
	高校	—	→	1～4	→	1～6人
	総合支援学校	4～6人	→	4～7	→	4～9人

その他詳細は、令和6年3月頃に公表する「令和7年度京都市立学校教員採用選考試験 大学・大学院推薦制度実施要項」において発表します。